



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月4日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4512 URL <https://www.wakamoto-pharm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 範久
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 福原 和彦 TEL 03-3279-0371
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,486	5.0	△859	—	△818	—	△1,559	—
2019年3月期第3四半期	8,085	△3.6	67	849.4	102	246.3	191	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△44.93	—
2019年3月期第3四半期	5.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	16,574	12,221	73.7	352.12
2019年3月期	17,764	13,760	77.5	396.48

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 12,221百万円 2019年3月期 13,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	5.2	△900	—	△900	—	△1,650	—	△47.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	34,838,325株	2019年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	130,581株	2019年3月期	130,327株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	34,707,839株	2019年3月期3Q	34,708,258株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策を背景に、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しましたが、海外における中国景気の減速や長期化する米中間の貿易摩擦等による政治・経済動向の不確実性が高まっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策や長期収載医薬品の薬価引下げなどの薬剤費抑制政策が継続的に推し進められ、引き続き厳しい事業環境にあります。

ヘルスケア事業を取り巻く環境は、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は横ばいにとどまり、また企業間競争も加速しており、依然、不透明感を払拭できない状況が継続しました。

そのなかにあって当社の医薬事業では、主力製品である眼科手術補助剤・眼科用副腎皮質ホルモン剤「マキユエイド眼注用40mg」、アレルギー性結膜炎治療剤「ゼペリン点眼液0.1%」、水溶性非ステロイド性抗炎症点眼剤「ジクロード点眼液0.1%」、緑内障・高眼圧症治療剤「リズモンTG点眼液」および主力製品として育成すべき重要な製品の緑内障・高眼圧症治療剤（特許を持った後発品）「カルテオロール塩酸塩LA点眼液」、「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」の製造販売に加えて、乳酸菌製剤「レベニン」シリーズ、業務提携先との共同販促品であるA型ボツリヌス毒素製剤「ボトックス注用」、緑内障・高眼圧症治療剤「ドルモロール配合点眼液」、「ピマトプロスト点眼液0.03%」、サプリメント「オブティエイド」シリーズ、さらには医薬品原料等の販売促進ならびに受託製造販売を行ってまいりました。

ヘルスケア事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、エビデンスに基づき口臭予防を訴求した薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズ」シリーズ2製品および通販事業を主体に「アバンビーズ オーラルタブレット」（乳酸菌含有加工食品）の販売促進を行ってまいりました。

国際事業では、海外向け「わかもと」、医薬品および原料薬品の製造販売ならびにライセンスイン・アウトの活動を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は84億8千6百万円（前年同期比5.0%増）、営業損失は8億5千9百万円（前年同期は営業利益6千7百万円）、経常損失は8億1千8百万円（前年同期は経常利益1億2百万円）、四半期純損失は15億5千9百万円（前年同期は四半期純利益1億9千1百万円）となりました。なお、WP-1303の緑内障・高眼圧症を適応症とした開発を中止したことに伴い、繰延税金資産を取り崩しております。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では「マキユエイド眼注用40mg」、「ドルモロール配合点眼液」、「カルテオロール塩酸塩LA点眼液」および「オブティエイド」シリーズの売上が増加いたしました。長期収載品である「ジクロード点眼液0.1%」および「リズモンTG点眼液」の売上が減少いたしました。その結果、売上高は50億2千4百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

ヘルスケア事業では、主力製品の「強力わかもと」、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は28億2千8百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

国際事業では、輸出用原料薬品の売上が増加いたしました。その結果、売上高は4億9千5百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

不動産賃貸業の主たる収入はコロド室町関連の賃貸料であります。売上高は1億3千9百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、165億7千4百万円となり前事業年度末比11億8千9百万円（6.7%減）の減少となりました。流動資産は89億7千4百万円となり6億4千9百万円（6.8%減）の減少、固定資産は75億9千9百万円となり5億3千9百万円（6.6%減）の減少となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、現金及び預金、原材料及び貯蔵品が減少したことが主たる要因であります。固定資産が減少いたしましたのは、繰延税金資産が減少したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、43億5千3百万円となり前事業年度末比3億5千万円（8.8%増）の増加となりました。流動負債は26億7千5百万円となり3千2百万円（1.2%減）の減少、固定負債は16億7千7百万円となり3億8千3百万円（29.6%増）の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、賞与引当金が減少したことが主たる要因であります。一方、固定負債が増加いたしましたのは、繰延税金負債が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、122億2千1百万円となり前事業年度末比15億3千9百万円（11.2%減）の減少となりました。繰越利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の77.5%から73.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年10月30日に公表いたしました通期の業績予想及び配当予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,261,813	2,494,970
受取手形及び売掛金	3,642,776	3,901,930
商品及び製品	1,379,604	1,352,231
仕掛品	420,277	511,581
原材料及び貯蔵品	674,191	537,296
未収還付法人税等	22,421	6,805
その他	224,532	170,176
貸倒引当金	△728	-
流動資産合計	9,624,888	8,974,992
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,822,381	7,816,204
減価償却累計額	△4,737,190	△4,857,374
建物(純額)	3,085,190	2,958,829
構築物	268,504	268,504
減価償却累計額	△221,287	△226,852
構築物(純額)	47,216	41,651
機械及び装置	8,034,589	8,041,199
減価償却累計額	△7,531,062	△7,613,775
機械及び装置(純額)	503,527	427,424
車両運搬具	45,455	50,273
減価償却累計額	△35,110	△39,385
車両運搬具(純額)	10,344	10,887
工具、器具及び備品	969,411	984,923
減価償却累計額	△846,202	△871,841
工具、器具及び備品(純額)	123,209	113,081
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	55,035	53,200
有形固定資産合計	3,907,470	3,688,022
無形固定資産		
特許実施権	300,000	300,000
特許権	228	138
ソフトウェア	168,229	124,010
ソフトウェア仮勘定	-	48,494
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	472,138	476,323
投資その他の資産		
投資有価証券	2,634,497	2,665,247
保険積立金	498,817	463,748
繰延税金資産	310,990	-
その他	358,241	348,245
貸倒引当金	△43,036	△41,736
投資その他の資産合計	3,759,510	3,435,505
固定資産合計	8,139,118	7,599,851
資産合計	17,764,006	16,574,843

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,322,362	1,506,144
短期借入金	140,000	100,000
未払法人税等	19,794	20,706
未払消費税等	-	26,352
賞与引当金	141,600	46,990
返品調整引当金	4,000	3,000
その他	1,080,773	972,563
流動負債合計	2,708,530	2,675,757
固定負債		
退職給付引当金	1,123,035	1,078,355
長期預り金	169,327	169,820
繰延税金負債	-	425,597
その他	2,134	3,974
固定負債合計	1,294,496	1,677,747
負債合計	4,003,027	4,353,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,828	2,675,828
利益剰余金	6,596,110	5,036,778
自己株式	△36,056	△36,123
株主資本合計	12,631,770	11,072,371
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,129,208	1,148,966
評価・換算差額等合計	1,129,208	1,148,966
純資産合計	13,760,978	12,221,338
負債純資産合計	17,764,006	16,574,843

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	8,085,767	8,486,921
売上原価	3,519,961	3,662,321
売上総利益	4,565,805	4,824,600
販売費及び一般管理費	4,498,632	5,683,673
営業利益又は営業損失(△)	67,173	△859,073
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	42,533	44,171
為替差益	-	708
その他	14,160	16,782
営業外収益合計	56,710	61,675
営業外費用		
支払利息	1,401	477
固定資産除却損	1,508	1,595
寄付金	15,576	15,319
為替差損	399	-
その他	2,806	3,434
営業外費用合計	21,691	20,827
経常利益又は経常損失(△)	102,191	△818,225
特別利益		
固定資産売却益	194,236	-
受取和解金	11,900	-
特別利益合計	206,136	-
特別損失		
事務所移転費用	9,804	-
特別損失合計	9,804	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	298,523	△818,225
法人税、住民税及び事業税	13,147	13,138
法人税等調整額	93,530	727,967
法人税等合計	106,678	741,106
四半期純利益又は四半期純損失(△)	191,845	△1,559,331

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注) 1
	医薬事業	ヘルスケア事業	国際事業	不動産賃貸業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,096,346	2,395,361	456,383	137,677	8,085,767	—	8,085,767	—	8,085,767
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,096,346	2,395,361	456,383	137,677	8,085,767	—	8,085,767	—	8,085,767
セグメント利益又は 損失 (△)	△280,890	257,033	35,017	56,013	67,173	—	67,173	—	67,173

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注) 1
	医薬事業	ヘルスケア事業	国際事業	不動産賃貸業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,024,004	2,828,066	495,003	139,847	8,486,921	—	8,486,921	—	8,486,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,024,004	2,828,066	495,003	139,847	8,486,921	—	8,486,921	—	8,486,921
セグメント利益又は 損失 (△)	△1,019,112	29,087	73,243	57,709	△859,073	—	△859,073	—	△859,073

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

前第4四半期会計期間より、従来「その他」に区分していた「不動産賃貸業」については量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。